

メダカも懸命に生きている

真光寺川を清流にする会
世話人 山口拓郎

最近頃に足腰の衰えを覚えるようになってきた。一念発起、五月一日を期して朝の散歩として能ヶ谷神社参拝と真光寺川下堰親水での水質観測を思い立った。それから三ヶ月余り、日課としてようやく定着したようだ。日々、川が見せる微妙な変化は興味深い。夏、恒例となった「真光寺川まつり2008」も皆の協力で無事終わることができた。今年はメダカの確保に苦労した。和光鶴小の小菅先生の全面的協力を得て事なきを得た。メダカも種の保存をかけて懸命に生きているようだ。

{5月}

5月1日(木)水質観測を開始
爽やかな5月、朝の散歩を兼ねて観測を開始することにする。6時に家を出る。先ずは能ヶ谷神社に参拝、145段の階段に息を切らす。下堰親水で観測。時刻、気温、水温、水位、透視度、魚・鳥の状況を記録することにする。果たして生活習慣として定着するか?意志が問われている。

5月7日(水)一木会

午後、里親通信の印刷を予定していたが寄稿をお願いした松井先生の体調が優れず延期となる。18時から魚民で一木会。市民大学・環境体験講座のこと等。

5月10日(土)中島先生より連絡

和光鶴小の中島先生から連絡がある。4年生を担当し真光寺川研究をすることになったので、明日の清掃作業に参加したいとのこと。歓迎する旨返事。

5月11日(日)清掃作業日

前夜からの雨でかなり増水、山本さんと相談して会員に作業中止を伝える。9時過ぎ、開戸親水へ。中村さんが新しい会員を連れてこられる。中止となって残念だ。和光鶴小の中島先生も見える。中島先生と子供達の真光寺川研究のこれからの段取り等を話しながら帰る。午後から支所で「里親通信」を印刷し配達する。

5月14日(水)南東建訪問

真光寺川の変遷を尋ね、魚道や蛇籠の設置をお願いするため訪問する。4名の係官が出席し懇切に対応して下さい。次回は現地において実地検討を行うことになった。

5月15日(木)水サンプル回収

家を5時半に出る。快晴、風が快い。鶴川設備工業裏で年輩の方が川の中の草を刈っていた。カルガモのためと言っていた。8時に帰宅。9時、松前さんにお渡しする。午後、和光鶴小へ「町田ごみフェスタ2007」の報告書を35冊持参する。松井先

生と校長先生にお目にかかる。

5月19日(月)市民大学のつどい企画会
8月中旬、中央公民館で開催の予定。構想段階。和光鶴小の発表と鶴三小、和光鶴小の展示を中心に考えることにする。

5月24日(土)鶴三小道徳授業公開講座
午前、授業を参観し講演会。午後は、運営会議に出席する。

5月26日(月)市民大学のつどい委員会
30数団体が出席し熱心に打合せ。

{6月}

6月5日(木)里親通信印刷・一木会
14時から支所で里親通信の印刷、16時に配達終了。18時から魚民で一木会。「まつり」の段取りと役割分担が中心議題、今年はメダカの調達が課題になりそう。

6月8日(日)市民大学体験講座

定期清掃日だが体験講座を兼ねて実施。9時半、受講生8名、事務局3名、和光鶴小中島先生、エコネット・清流の会員10名開戸親水に集合する。自己紹介後、鶴見川と真光寺川の水質調査を実施する。引き続き開戸親水から下堰親水まで清掃作業を体験してもらう。昼前、作業を終了し解散。

6月16日(月)鶴三小・6年生来訪

鶴三小の富岡先生と6年生4名が来訪。地域のお年寄りから昔の話を聞く学習。家内が横浜空襲の体験談を話す。真剣な表情で聞いていた。午後から「市民大学のつどい」の企画会。小学生の作品展示と対話を中心に進めることにする。

6月17日(火)鶴三小横倉先生から電話
4年担当の横倉先生から電話がある。学校の予定にそい全面的に協力する旨伝える。

6月19日(木)水サンプル回収

5時過ぎに家を出る。高曇りで歩くには絶

好の天気。4カ所回収して8時前に帰宅、シャワーを浴びて一息つく。

6月24日(火)和光鶴小・体験学習

中島先生のクラスの「真光寺川研究」のスタートだ。前日雨が降り懸念されたが朝の観察でさほど増水していないことを確かめことができホッとする。子供達は10時過ぎに下堰親水に到着する。びしょ濡れになりながら川に入って大喜びである。山岡、黒田さんが対応して下さい。

{7月}

7月1日(火)和光鶴小・出前講座

中島先生の依頼があり、11時から出前講座を行う。メダカポストのこと等質問が多かった。

7月4日(金)鶴三小・打ち合せ

3年担当の松田先生が体調を損なわれ当面欠勤とのこと。校長先生も対応に苦慮されているご様子だ。昨年「真光寺川まつり」には、先生方がテントを張って下さり5年生が真光寺川の草花で「しおり」を作成して大勢きてくれた。今年は3年生が中心に参加の予定だった。不測の事態で残念だ。

7月9日(木)里親通信印刷、一木会

午後、支所にて里親通信の印刷。鶴三小に持参、石渡副校長にお目にかかる。松田先生欠勤の授業代行をされている由、管理業務もあり忙殺されているご様子だ。人員の余裕がないだけに学校運営も大変だ。学校として「まつり」にきてもらうのは難しくなってきた。4年担当の横倉先生から「市



08.7.26真光寺川祭

民大学のつどい」に展示する「ごみ減量作戦」の作品をお借りして帰る。夕方、魚民で一木会。鶴三小の状況を報告する。「まつり」の詳細な詰めを行う。

7月13日(日)清掃作業

酷暑、真夏の太陽が容赦なく照りつける。和光鶴小の中島先生のクラスの子供達と父兄が20名余り作業に参加してくれた。子供達は川に入って大喜びだ。広報担当の父兄の取材を受ける。終了後、いちょう会館で「まつり」の打合せ。

7月17日(木)水サンプル回収

5時に家を出る。高曇り、朝の風が爽やかだ。8時前に帰宅、9時に松前さんへお渡しする。

7月25日(金)「まつり」準備

「まつり」前日、多忙な一日だった。午前、和光鶴小にお伺し松井先生から「市民大学のつどい」に展示する「真光寺川研究」の作品をお借りする。大川先生にお目にかかり「まつり」の「ミニ水族館」の魚捕獲、「投網教室」の指導等お願いする。小菅先生は「まつり」当日午前中メダカを持参して頂けるとのこと。午後、ききょう会館で「ごみフェスタ実行委員会」広報部会長としてお願いすることがあり欠席はできない。急ぎ帰り下堰親水周辺の草刈りに参加。18時に作業を終え解散する。

7月26日(土)真光寺川まつり2008

8時に下堰親水へ。大川先生、山岡さん等早くもミニ水族館の魚捕獲にかかっている。中島先生、ワゴン車で網、タライ、ミニプール等持ってきて下さる。子供達がちぎり絵で作った横断幕も。これまでの分と併せて横断幕5流となる。準備に目が舞うような忙しさだ。水鉄砲の標的の風船がぶらさげられ、テントが張られ、のぼりが建てられ「まつり」の雰囲気盛り上がりつつある。10時開会。催しの内容をそれぞれの担当が発表する。下堰親水は子供達の歓声で満たされる。小菅先生がメダカを持参して下さい。今年は天候不順のせいが水槽のメダカが全滅したようだ。別に飼っていたメダカを「まつり」のために懸命に養育して下さい間に合わせて下さる。感謝!メダカを育てるのも容易なことではない。メダカも懸命に生きているのだ。メダカの配布、いつものことだが長い列ができた。飼いや熱心に聞いている子供達が多かった。12時、勇壮な桶太鼓が響きわたるまつりはクライマックスを迎えた。14時、終了。今年の夏の行事が一つが終わった。(この項おわり)